

衛星情報・空間情報利活用促進セミナーのご案内

近年、衛星を利用した地球観測や高精度な位置情報の取得が可能になり、気象や気候変動、環境モニタリング、農林水産業への利活用、位置情報のビジネス利用等が進む中、本年5月24日にはJAXA（宇宙航空研究開発機構）が「だいち」の後継機のALOS 2の打ち上げを予定しております。そこで、この度、衛星情報の利活用を進める2つの事例を北海道大学の先生にご紹介いただく運びとなりました。最初に北海道大学大学院理学院教授の高橋幸弘氏は400色の光を判別し、色ごとの光の強度を測定する技術を開発されリモセンへの利用が期待されていますが、災害や環境の異変を宇宙から監視するネットワーク作りを超小型衛星（マイクロサテライト）を活用して東南アジア諸国とも協力しながら2020年頃には実現する構想について講演いただきます。また農業においては担い手不足問題への解決策としてロボット農業が注目を集めておりますが、最新の衛星測位技術や地理空間情報を高度に活用した農業のロボット化について北海道大学大学院農学研究院准教授の岡本博史氏（ビークルロボティクス研究室）にお話を伺います。皆様方におかれましては、ご多用の折とは存じますが、今後の衛星情報の利活用に幅広い知見が得られると思っておりますので、多数ご出席賜りますようお願い致します。

記

■日時：平成26年5月12日（月）13：30～15：30

■会場：かでの2・7 1030会議室

〒060-0808 札幌市北区北2条西7丁目 10F TEL 011-204-5100

■プログラム

13：30 「マイクロサテライト衛星による宇宙情報革命」



講師：高橋 幸弘氏（北海道大学大学院理学院教授・宇宙ミッションセンター長）

【プロフィール】東北大学・大学院理学研究科・地球物理学専攻博士課程中退。第33次日本南極地域観測隊・越冬隊員、東北大学・大学院理学研究科・助手、講師、准教授を経て2009年8月より北海道大学・教授（大学院理学院・宇宙理学専攻および創成研究機構・宇宙ミッションセンター長）。博士（理学）。

14：30 「地理空間情報を高度に活用したロボット農業」



講師：岡本 博史氏（北海道大学農学研究院ビークルロボティクス研究室准教授）

【プロフィール】2000年北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了博士（農学）、同年北海道大学大学院農学研究科・助手、2012年より現職。

15：20～15：30 質疑応答

■参加費：一般 3,000円、産学官・GIS研究会会員・官公庁 2,000円

参加費振込先：北洋銀行 本店営業部（普）1822587 北海道産学官研究フォーラム 宛

■主催・連絡先：北海道産学官研究フォーラム／北海道GIS・GPS研究会（担当 藤原）

〒007-0803 札幌市東区東苗穂3条1丁目2-7-105

TEL:011-787-7650 FAX:011-787-7655 E-mail: fuji@kirari.com

※お申し込みは、5月8日（木）までに、FAXかE-mailでお願い致します。

-----【参加申込書】-----

平成26年5月12日（月）の「衛星情報・空間情報利活用促進セミナー」に参加します。

所属名		部署・役職		氏名	
住所		TEL		E-mail	